

お知らせ

密告・盗聴反対! なくせ冤罪3.20集会

2015年3月20日(金)

午後6時開場 午後6時半開始～午後9時終了

於:文京区民センター 3A

【集会共同スローガン】

- 取調べの可視化(録音・録画)を全事件・全過程で実現しよう。
- 証拠は真実を明らかにするための公共財産。全事件の全証拠を開示する制度を作ろう。
- 盗聴法の大改悪に反対しよう。
- 冤罪を拡大する日本型司法取引(密告奨励)制度の新設に反対しよう。
- 冤罪を生まない刑事司法の改革を実現しよう。

◆基調報告 小池振一郎(弁護士)

法制審答申をどうみるか～取調べの録音録画、日本型司法取引、盗聴法大改悪など

◆特別講演 足立昌勝(関東学院大学名誉教授)

盗聴法改悪による盗聴法の質的転換とその問題点

◆冤罪リレートーク

冤罪被害者、ジャーナリスト、裁判員経験者が語る冤罪と司法改革

主催:3.20集会実行委員会

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-26-12 高田馬場ビル 505号室桜井司法研究所気付

冤罪リレートーク

冤罪被害当事者を始め、以下の方たちが冤罪と刑事司法制度改革についての思いを語る。

袴田 巖（はかまだいわお） 秀子（ひでこ）

袴田事件 無実の死刑囚（2014年3月再審開始決定。刑の執行停止中）
（袴田巖さんは、体調等の理由で出席できない場合もあります）

西嶋勝彦（にしじまかつひこ）
弁護士 袴田事件弁護団団長

Aさん
三鷹バス痴漢冤罪被害当事者（無罪確定）

川畑幸夫（かわばたさちお）
志布志事件 踏み字冤罪被害者 国賠元原告

安田 聡（やすださとし）
狭山事件再審弁護団事務局

田口真義（たぐちまさよし）
裁判員経験者によるコミュニティ LJCC コーディネータ
著書『裁判員のあたまの中』（現代人文社）

高沼英樹（たかぬまひでき）
一般社団法人 日本雑誌協会 編集倫理委員会委員長
株式会社 光文社 編集管理局長
「盗聴法改悪における児童ポルノと出版への影響」

丸山重威（まるやましげたけ）
ジャーナリスト。元共同通信社編集局次長、関東学院大学法学部教授（ジャーナリズム論）。現日本ジャーナリスト会議運営委員・事務局次長、日本民主法律家協会「法と民主主義」編集委員。
著書「新聞は憲法を捨てていいのか」「これでいいのか日本のメディア」など。メディアと憲法、表現の自由、報道の自由などについての論文多数。
警察の「新しい捜査手法」と盗聴法、秘密保護法、メディア。

櫻井昌司（さくらいしょうじ）
布川事件冤罪被害当事者。2011年再審無罪確定。布川事件国賠訴訟原告

この集会についてご不明の点は、
メール：snow@snow.jca.apc.org 電話：080-5099-0348（今井）へお尋ね下さい。